

News Letter

AQSI

N°03

2023年8月



セネガル国看護師・助産師の臨床実習の質向上プロジェクト



パイロットフェーズが始まりました

プロジェクトでは2022年4月の開始以降、臨地実習に関する協議枠組みの構築や教材の標準化のために行政文書・教材の作成・改訂の支援や、パイロットフェーズの対象となる養成校や保健医療施設の選定を行ってきました。全5回のワークショップを経て、2023年3月に文書の草案を最終化し、5~8月の予定で、パイロットフェーズを開始しました。パイロットフェーズでは、養成校教員や保健医療施設などの臨地実習指導者への研修後に、これらの行政文書・教材を用いて臨地実習・スーパービジョン・評価など一連の活動を行い、その使いやすさや有効性を検証します。その結果を受けて、これらの文書を見直し、拡大フェーズに進みます。

パイロットフェーズ開始に向けた活動（1月~3月）

1. 行政文書・教材草案の最終化

2月14-15日に、「行政文書・教材草案の最終化ワークショップ」を開催しました。保健省、高等教育省、職業訓練・実習・雇用促進省の各省のほか、全7州の州保健研修センターや私立保健人材養成校組合、開発パートナー、保健医療施設関係者等、計37名が参加しました。ワークショップでは、行政文書・教材の草案を関係者に共有し、パイロットフェーズでの試運用に向けた承認を得ました。



最終化ワークショップ終了後の集合写真

2. パイロットフェーズの対象施設の選定

2月2-3日にティエス州、24日にダカール州で、「パイロットフェーズの対象施設選定会議」を開催しました。会議では、正看護師・助産師コースが設置されていること（養成校）、看護師・助産師の学生の

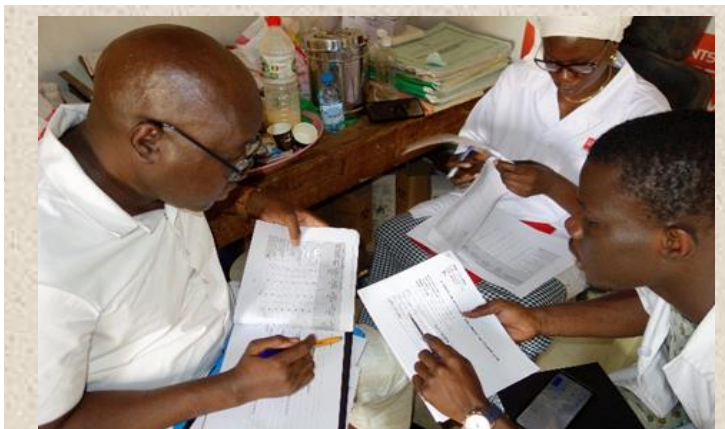
実習受け入れ経験があること（医療施設）といった複数の選定基準に沿って、ティエス州では3養成校と6保健医療施設、ダカール州では4私立養成校と7保健医療施設が選定されました（次頁の表）。

パイロット研修の実施（5月~8月）

1. パイロット研修の実施

5月22日から26日にティエス州で、6月19日から23日にダカール州で、パイロット研修を実施しました。養成校や保健医療施設から、ティエス州では49人、ダカール州では59人が参加しました。

研修は、プロジェクトで作成・改訂した行政文書・教材について参加者が理解を深め、実習計画やコンピテンシーアプローチ（APC）に基づく臨地実習の指導能力を強化することを目的に行われました。プログラムは3日間の座学と、保健医療施設における2日間の実習で構成されています。



保健ポストで評価グリッドを使って学生の評価を演習する参加者たち（ティエス州）

<研修講師の声>



研修では、評価グリッドを用いて指導方法を演習しました。臨地実習では、中間評価を通じて改善すべき点を明らかにし、終了評価までに学生が自身の課題に取り組めるようにしています。しかし、研修を通じて、中間評価時には評価グリッドを使用していない場合があることが明らかになりました。評価グリッドの使い方を現場で演習したことで、共通の基準に従って、一貫した学生の評価や指導ができるようになり、指導方法の質の改善にも役立ちます。(ンジャイ・アストウ・セン/保健省人材局研修課教育アドバイザー)

<研修参加者の声>



この研修を通じて、臨地実習における学生の指導方法が人によって大きく異なるということが分かりました。養成校、保健医療施設、学生に標準化されたツールを提供し理解を深めたこの研修は、非常に有益なものでした。
(アマドゥ・ファル・ロ/ティエス州保健研修センター教員・看護師)

学生の指導や評価という点において「評価グリッド」は非常に役立つツールだと考えます。このようなツールの標準化と研修を通じて、臨地実習指導者と学生が共通の理解を持つことは臨地実習の質の改善に貢献すると思います。
(ラザフィ・アンジュ・バ/ティエス州病院・助産師)



手順マニュアルや保健施設オリエンテーション冊子などは、全ての関係者に関わる横断的なものなので印象に残りました。また、従来の実習冊子はページ数が多かったので、簡素化したことにより、臨時実習でより使いやすいものとなったと思います。(ンジャイ・ソケイナ・ジェン/アフリカン・インスティテュート・オブ・ヘルス・サイエンス校長)

臨地実習の現場で働いている私たちにとって、研修で学んだ文書は、初めて学ぶものばかりでした。実際の臨地実習時に何をどのように使用するのかという点を知らなかったのです。この研修を通じてその理解を深めることができました。(ババ・トラオレ/イドリサ・ブイエ総合病院・臨地実習責任者)



2. パイロットサイトの研修後フォローアップ

6月13日から15日にかけて、ティエス州でパイロット対象の3つの養成校と6つの保健医療施設を訪問し、5月に実施したパイロット研修後の導入状況の聞き取りと必要に応じて再指導を実施しました。



ポートフォリオの利用方法について研修講師が臨床指導者と学生に対してフィードバックする様子

全国レベルの協議枠組みの設置

臨地実習の効率的な調整や実習状況とその質の改善を目的として、臨地実習の関係者による定期的な協議の場を、全国と州レベルに設置しました。

3月6日付で、保健省より臨地実習の協議枠組み設置にかかる通達文書が発出され、正式に全国レベルの協議枠組みが設置されました。これを受けて、5月11日には、ティエス州の協議枠組み設置にかかるアレテ(条例)も発出されました。ダカール州に関しても、同様に協議枠組み設置へ向けた手続きが進められています。

州レベルの協議枠組み会議

6月27日にティエス州知事の招集により第1回目の協議枠組みが開催されました。保健省やティエス保健科学大学をはじめ、27人が参加しました。この会議では、ティエス保健科学大学より演習機材が不足している養成校に対する大学の演習室の開放などの協力が発表されたり、実習の計画・事前調査委員会、スーパービジョン委員会が設置されるなどティエス州における具体的な実施体制が協議されました。

表：パイロット養成校と保健医療施設

	パイロット養成校	パイロット保健医療施設
ダカール	<ul style="list-style-type: none"> セネガル・アフリカン研修センター アフリカン・インスティテュート・オブ・ヘルス・サイエンス 保健専門養成・トレーニングセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ファン病院 ジェネラル・イドリサ・ブイエ・ド・グラン・ヨフ病院 ピキン病院 中央ダカール保健区 <ul style="list-style-type: none"> ガスパルカマラ保健センター デルクレ保健ポスト 西ダカール保健区 <ul style="list-style-type: none"> フリップマグリエサンゴール保健センター メルモーズ保健ポスト
ティエス	<ul style="list-style-type: none"> ティエス州保健研修センター 保健・サービス・トレーニング・インスティテュート 保健・サービスインスティテュート 	<ul style="list-style-type: none"> ティエス州病院 ンブル病院 ティエス保健区 <ul style="list-style-type: none"> ティエス10番保健センター ハネン保健ポスト ンブル保健区 <ul style="list-style-type: none"> テフェス保健センター ソモン保健ポスト

ティエス州医務局長のインタビュー

ティエス州における看護師・助産師を対象とした臨地実習の課題について教えてください。

臨地実習の質の改善のためには、臨地実習の調整方法、教材やツールの標準化を通じて、学生指導の質を向上させることが重要です。そのためには臨地実習に関わる養成校、保健医療施設、州医務局、保健省など、すべての関係者の共通理解が不可欠です。また、臨地実習の計画、実施体制のモニタリングを通じて、臨地実習指導者が適切な教材やツールを使って学生を指導しているかどうか、学生が教材を適切に使えているかどうかを把握し、改善する体制づくりをすることも必要です。

次に、州レベルにおける臨地実習調整の枠組みの設置があります。ティエス州では、中央レベルでの協議枠組みの設置に係る通達文書の発出に続いて、ティエス州知事の権限により協議枠組みが設置され、半年に1回の協議枠組み会議が実施されることとなりました。この枠組みを通じて、臨地実習で受け入れる学生数の調整や現場における課題に横断的に取り組み、ティエス州の臨地実習の質の改善を目指します。ティエス州の協議枠組みでは、特にティエス州における課題を明らかにし、そこで明らかになった課題に取り組むことが重要だと考えます。

大学や民間の保健医療施設を巻き込むだけでなく、看護師・助産師・看護助手の人材育成において、ティエス州で看護師・助産師育成に中心的な役割を担うティエス州保健研修センター（CRFS）とは、実施体制や課題について協働して取り組まなくてはなりません。

また、ティエス大学の巻き込みもなくてはなりません。ティエス大学では、医師、看護師、助産師の教育を行っています。臨地実習先の保健医療施設は、他の養成校の学生と同じ保健医療施設になる場合があるからです。



ティエス州における第1回協議枠組み会議において議事進行を務める州医務局長（写真中央）と、ティエス大学学長（写真右）、保健省研修課職員（写真左）



ママ・ムサ・ジャオ
ティエス州州医務局長

養成校の教員や臨地実習指導者にはどんなことを期待していますか？

臨地実習の調整方法、教材、ツールの標準化と共通の理解を持つことは非常に重要です。そこで、プロジェクトの支援で作成された教材やツールを使用して学生指導に携わる養成校や医療保健施設のすべての職員に対する研修が必要であると考えます。また、臨地実習における学生指導を通じて、養成校や臨地実習指導者には、現場の声や改善点を聞かせてもらい教材やツールをよりティエス州の臨地実習の実施に役立つものに改訂して欲しいと考えています。これにより、より実践的な教材やツールを使って、来年度からの拡大フェーズにおいて研修ができるようになります。

プロジェクト目標を達成するために、どのような提案があるかお聞かせください。

2022年4月以降の保健医療施設のストライキや社会状況により、パイロットフェーズの実施時期を変更しましたが、効率的に活動を進め現在では大きく前進しています。今後も、プロジェクト目標の達成のために工夫して活動を進めることが必要であると考えます。民間・公立を問わず全ての保健医療施設においては、医療従事者は、患者に対して質の高いサービスを提供すべきであり、そのためには、臨地実習の質を改善し、看護師・助産師学生が標準化された理論や臨地実習の指導を受けられる仕組みを作ることが重要です。

ティエス州のパイロットフェーズ関係者へのメッセージを聞かせてください。

ティエス州は幸運なことにAQSISプロジェクトの介入州の一つとして選ばれました。そのため、養成校の教員、保健医療施設の臨地実習指導者には、このプロジェクトが成功するよう全力を尽くして欲しいです。特に、保健医療施設において学生を指導する臨地実習指導者の役割は重要です。臨地実習における学生指導は、学生のサービス提供スキルの向上と強く関連しています。また、臨地実習の終了評価の結果を見ると、国家試験の合格率にも関連しているものであることが分かります。

2023年1月～6月の活動進捗

1. 第2回拡大ワーキンググループの開催

4月14日に、「第2回拡大ワーキンググループ（GTE）」を開催しました。会議には26名が参加し、プロジェクト活動の進捗やパイロットフェーズ計画が共有されました。また、プロジェクトで作成・改訂を支援した行政・教育文書数が、当初計画の5から11文書に増加したため研修日数を3日間から5日間に増やすことや、当初の想定数よりも、実際の対象者数が少ないことが判明し、研修に関する指標の変更が必要になったことから、プロジェクト目標に対して設定された指標の変更を提案し承認されました。



第2回拡大ワーキンググループの集合写真

2. 統合同調整委員会（COPiL）の実施

3月13日に、統合同調整委員会（COPiL）が開催されました。プロジェクトでは、フォーカルポイントの人材局研修課課長より、活動の進捗に関しての報告を行いました。パイロットフェーズを期間内に、効率的に実施する対策が確認されました。



活動進捗を報告する研修課長

3. 他開発パートナーとの連携

看護師・助産師の人材育成に取り組むIntraHealth（Classroom to Care（C2C）プロジェクト）と定期的に協議の場を持ち、連携して活動を進めています。2月には、人材局研修課、C2C、プロジェクトで調整会合を実施し、活動計画の共有や活動の連携について協議しています。また、6月のダカールでのパイロット研修には、C2Cの責任者がオブザーバーとして参加し、C2Cが行うコンピテンシーアプローチ研修と本プロジェクトで実施する臨床指導に関するセッションの整合性を確認しています。今後も連携しながら活動を進めます。



パイロット研修にて研修講師と教材の整合性を確認するC2Cプロジェクト責任者（写真右）

4. JICA母子保健プロジェクトとの連携

JICA「母子保健サービス改善プロジェクトフェーズ3(PRESSMN3)」と連携し、助産師教育の強化を目指しています。3月に「リスペクトフルケアに関する経験共有会合」に参加し、本プロジェクト対象州以外のサンルイ州、タンバクンダ州、ジガンシヨール州に対して、プロジェクト活動の概要を共有しました。5月には現場での助産師業務の観察と、PRESSMN3による助産師の研修内容の視察を目的に、同プロジェクトの実施するスーパービジョンに参加しました。

5. グローバルファンド助成金企画書の支援

養成校と保健医療施設の受け入れ学生数や時期など、臨地実習調整を効率的に実施する仕組みが求められています。そこでプロジェクトは、人材局による保健省の既存のプラットフォーム「保健人材情報システムソフトウェア（iHRIS）」を活用した企画書「デジタル技術を活用した人材強化プロジェクト」の作成を支援しました。この企画書は保健省全体としてのグローバルファンド助成金申請書に盛り込まれ、現在、グローバルファンドによる審査が行われています。

2023年7月～2023年12月の活動予定

- ✓ 全国・州レベルの協議の枠組み会議の実施
- ✓ パイロットフェーズの評価ミッションの実施
- ✓ パイロットフェーズの結果共有ワークショップの実施
- ✓ プロジェクトで作成・改訂した行政文書・教材の見直しと技術承認
- ✓ 教員・指導者向け拡大研修の実施